

幸袋校小学部だより

令和4年9月9日(金)第10号
小学校長 松隈 崇世

学校教育目標 自ら学び、仲間とともに夢の実現をめざして挑戦する子どもの育成

【自律】自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、自分の学びを高め続ける子

【協働】自他に優しい思いやりの心とスキルを持ち、人間関係を豊かに築き自分の力を他者のために活かそうとする子

【創造】前向きな生き方や目標を持ち、実現に向けて意欲的に取り組む子

来年度から中学部の制服が新しくなります

上学年の児童や保護者の皆様は、制服に関するアンケート調査に答えていただきましたのでご存じかと思いますが、来年度から本校中学部の制服がモデルチェンジを行い、新しくなります。LGBTQ 等様々な性をもつ子を含めたすべての子どもの人権を大切にする制服の必要性が言われるようになって久しいですが、本校もようやくその実現の年を迎えることとなりました。男の子はズボン、女の子はスカートという時代は終わりました。ズボンでもスカートでも自分で好きな方を選んで身につけることができます。LGBTQ のみならず、嗜好の多様も含めて、全ての子どもたちが心の負担なく楽しく学校生活が送れるようになれば・・・と思っています。

来年度からの制服は、基本、上着は白いシャツに無地グレーのブレザー、下はグレーチェックのズボンかスカートです。詰襟の学生服やセーラー服が消えゆくのは少し寂しいですが、着やすく動きやすいブレザー型の制服の方が機能的にいのは納得がいきます。今の6年生からはこの新しい制服となります。今の7年生や8年生は、現在の制服を卒業まで使うことになる（希望すれば新しい制服を購入することもできますが・・・）ので、2年間は新旧入り混じった制服を見ることになります。

昔々、私の父や母が子どもの時代は、男子は坊主頭と決まっていました。それが、私が子どものころになると、坊主頭の男子は数えるほどになっていました。私が学生のころ、女子の体操服はブルマでした。私が教師になったころ、それが男女共用のハーフパンツに変わりました。理にかなっていて画期的だと思いました。時代とともに価値観が変わり、それに合わせて髪型や身につける物も変わっていきました。身の回りを見てみると、この他にも、よりよく進化した「もの」や「こと」がたくさんあります。「今の当たり前」は「昔の当たり前」とは大きく違います。そこに、一人一人を大切にする視点があるということが何より素晴らしいですね。



来週12日(月)から、本格的に運動会練習が始まります。早寝を心掛け十分に睡眠をとることや、朝ご飯をしっかり食べて登校することが大切です。おうちの方々の準備や声掛けが必要不可欠です。よろしくお願いいたします。併せて、熱中症対策のために、水筒・タオル・帽子(赤白帽子)の準備もよろしくお願いします。

小中合同で取り組んでいます

小中一貫校である本校では、小中合同の取組を数々行っています。以前に学校だよりでお知らせした小中合同避難訓練や本校を去られた先生方とのお別れ式などの学校行事や「結の日」の他にも、小中合同提案や小中合同委員会企画による取組が数々行われています。

2学期初めの今もいくつかの取組が行われていますので紹介します。

あいさつ運動（9/5～9/8）

小学部児童会と中学部生徒会が一緒に、毎学期の初めに「あいさつ運動」を行っています。児童会と生徒会の子どもたちが自分たちから元気な挨拶を行い、児童生徒みんなが元気な挨拶ができるように促します。来校者が来られた時の第一印象は挨拶で決まると言っても過言ではありません。気持ちの良い挨拶が当たり前になるよう取組を続けていきます。



遅刻0週間（9/5～9/9）

全国的に不登校は大きな問題となっています。大きな出来事で不登校になるケースばかりではありません。小さなきっかけで行き渋りが始まり、一度休んでしまうと登校自体がつらくなるという場合もあります。遅刻がちな子が徐々に不登校になっていく場合も多いです。「学校に行くことが当たり前」の感覚を身につけることが大切です。いろんな子どもたちがいて、学校に行くことが絶対とは言えない場合もありますが、学校で身につけることができる学力や体力、社会性等々、それらすべてを家や地域、その他の場で身につけようすることは大変難しいです。義務教育の9か年間は、学校に行くことを基本として、自分らしい自立のために必要なたくさんの資質能力を身につけてほしいと思っています。



実りの秋！おいしい食べ物がうれしい季節ですが、子どもたちにとっても実り多き秋になりますように…。